

二〇〇九年度 協会新委員揃う

二〇〇九年度、73回展開催をめざし以下の体制で臨むことになりました。会員各位のご理解ご協力をお願いいたします。

記

◆委員長 岡崎 紀

◆副委員長 橋本裕臣

” 尾埜行男

◆代表委員会

絵画／鍋島正一・林純夫・佐々木宗實・

屋嘉部正人

彫刻／柴田正徳・大田雅代・上野良隆・

奥田真澄

SD／雨山智子・金子武志・片岡葉子

◆合同委員会

◎会計委員会

絵画／小島隆三・眞野眞理子 彫刻／大

野春夫・永津守 SD／吉田淳子・野口

育郎

◎図録委員会

〔図録担当〕 絵画／菅沼光児・村山容子

・千葉文隆 彫刻／久保制一・岩間弘

SD／杉田文哉・下山肇

〔目録担当〕 絵画／中村修二 彫刻／古

川武彦 SD／二井進

〔広告担当〕 絵画／石倉郁美 彫刻／酒

井良 SD／山口和加子

◎IT委員会

絵画／秋葉直樹 彫刻／鳥原正敏・河西

栄二 SD／岡本泰子

◎広報委員会

〔広報担当〕 絵画／阿曾沼明・岸宏士

彫刻／鈴木武右衛門・川村兼章 SD／

金子武志

〔PR担当〕 絵画／林純夫・杉野和子

彫刻／藤森民雄 SD／金子武志

〔会報担当〕 絵画／山口都 彫刻／藤森

民雄 SD／中野威

〔HP担当〕 絵画／竹内一 彫刻／吉原

和夫 SD／田中遵

◎美術館担当委員 絵画／矢澤健太郎・

小島隆三 彫刻／酒井良・大野匠 SD

／佐伯和子・雨山智子

◎受賞作家展委員 絵画／松本正代・間

中敏子 彫刻／宇多花織・岩間弘 SD

／山口和加子・島田美和

◎慶弔委員 絵画／福島修子・馬縹紀子

彫刻／西川淑雄 SD／山下勘太郎

◆特別委員会

第75回記念展準備委員会

絵画／松浦安弘・樺山祐和 彫刻／代表

委員 SD／代表委員

◆美術団体懇話会

絵画／鍋島正一 彫刻／北郷悟 SD／

白川隆一・佐伯和子

◆会計監査

絵画／白井恵之輔 彫刻／雨宮透 SD

／森史夫

〔事務所員〕 矢野淑子（月・水・金）

ごあいさつ



委員長
岡崎 紀
おさむ

新制作展も、国立新美術館に移行して早3年目となり、第73回新制作展を迎えることとなりました。

常に新鮮、個性的でかつ純粋で自由な仕事を先人達から継承してまいりました。この展覧会に参画する者、皆、常々いい仕事をし、参観者に感動を与えるよう努力していかなくてはならないと思います。本年度は、特別展示、企画展示等、新しい試みも考慮中です。第73回新制作展がすばらしい展覧会となるよう各人に期待し、また運営に携わる者として、協会の一層の発展を願っております。

最近、大変きびしい世の中になり、倒産、リストラ、減給等……我が協会も例外ではありません。このまま現在の状態を何年も続けることはできません。私は運営の不安を感じております。今年は健全運営を続けるための予算見直しの年と位置付け、予算案をつくりました。どうか皆様、奉仕の精神でご協力、ご支援くださいますようお願いいたします。

今後、新制作協会が創造的な思考により新しい目標をつくり、充実した展覧会が続くようみなで力を合わせ飛躍させようではありませんか。

受賞作家展

絵
画

会期：2009年2月16日(月)
～21日(土)
会場：銀座東和ギャラリー

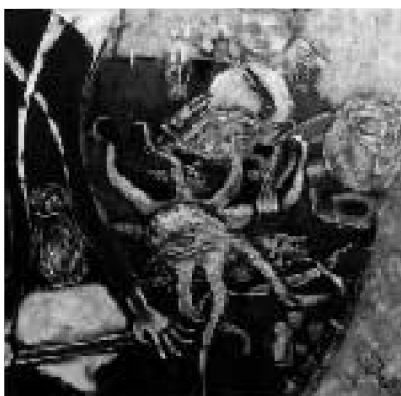


◀小野仁良
オトノキョク・ワタリロウカ
130.3×97.0cm



▲曾根三千代
風の折り 112.0×145.5cm

▶竹本義子
キッチンの詩(うた)
145.5×145.5cm



▼高堀正俊
Untitled
130.3×97.0cm



▲田中亮平
ノスタルジア 97.0×130.3cm

▶田村研一
WONDER STORIES
酷い風邪
145.5×145.5cm



▲手嶋醇子
私の風景 130.3×97.0cm

▼辻井久子
栖の生物 145.5×145.5cm



◀中崎眞佐子
瞬刻 130.0×97.0cm



▲永井 優
progressive Artifact 91.5×145.5cm

（お詫び）
前号会報で、新作家賞受賞者紹介欄に
絵画部、前田典生・星ゆみ両氏の掲載
もれがありましたことをお詫び申し上
げます。



▲星 ゆみ
タッチ 112.0×145.5cm



▲前田典生
中国山地雪景(吾妻山) 112.1×145.5cm



▲玉栄広芳
曲げたトルソ (FRP)
66×45×166cm

▶小川 誠
水の住人—流入—
(テラコッタ)
180×110×80cm

▼池田吏志
君をとりかこむ声だよ
(能勢産黒御影石)
40×40×100cm



◀渡辺尋志
命の荻「角」
(石)
66×45×166cm

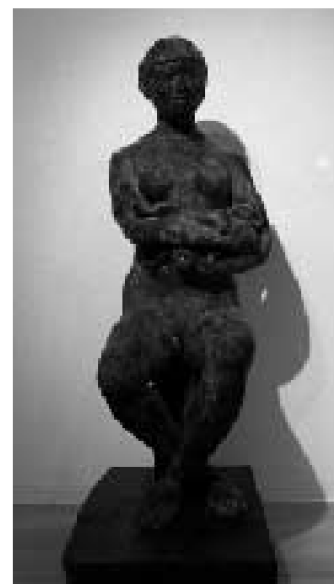


▶織本 亘
希望を見つめ
(楠・銀杏)
55×30×70cm

◀細田修己
ディベルティメント
(黒陶)
80×30×165cm



▼本田悦久
もっとやさしく抱いてくれ
(石膏)
50×80×140cm



彫
刻

会期：2009年2月16日(月)
～2月28日(土)
会場：ギャラリーせいほう

会期：2009年3月10日(火)
～3月15日(日)
会場：建築会館ギャラリー



▲立花克樹
Apart of Life
120×100×80cm
(木材)



▲福井一真
楔—party—
300×300×170cm
(赤松)



▲若松美佐子
ふーむ
280×100cm
(絹・床木)

新制作 生みの親 育ての親 〈2〉

絵画部会員 荒井茂雄

皆さん、こんにちは。今回より、しばらく、図録第1号に掲載された創立会員9名それぞれの想いについて述べてみたいと思います。一人ひとりが長文でま

めていきますので抜粋して記すことにしました。

* * *

◇畫に思ふ 猪熊弦一郎

「會期一週日の展覽會を前にして日を夜について大作に没頭し血の出る様な健闘を續けて居る我等連中を思ふ時、何時しか身内に熱くこみ上げて来るものがある」——と一気に語り、

「描いても描いても物足らず悪くすれば悪くする程畫を面白く思つて来る。今までにない氣持だ」と。また、

「苦しい仕事をやり度い、手のつけられ

ない程澤山の問題を作つてそれを片端から一つ一つぶち負かせて行き度い。問題の起らない畫家程不幸な畫家はなからう」と。さらに、

「嬉しい時に描き、笑ひ度い時に描き、くそつ腹が立つた時に描き、知り度い物を、見度い物を、卒直に畫面にぶちつけて見度い。問題が解決するまでとことんまで畫面と首引して心のすくまでやつて行き度い。自分の心の中に一點の妥協を許さない」と、熱い思いで語り、

「畫を描かない時にも自分を愛し新しい時代の中に自分をより良く育て度い畫家の生活態度様式の中に知らず識らず自分を良くも悪くも育てゝ居るものだ。自分はこの事にも作畫と同じ重要性を認めて居る」と、自らの日常生活における

意識を述べ、最後に、

「一體に日本の畫家は勉強の時間を持たな過ぎる様である。畫家の偉大さは良き作品を描き得る丈では決定できない。良き作品であり尚且つ最後に遺された莫大な作品の數量によつて決定される。世界の尊敬に値する畫家は大抵驚く可き多數の作品を遺して居る其跡を見せてこそ始めて其人の偉大さもあるのだ。思ひ至ればアカデミズムの伏魔殿から逃れて新しき我等の時代に出發し得た新制作派協會の一員として今後自分の仕事を愛すると同時に衷心から會をも愛し度い」と、まとめています。新制作の生みの苦しみを喜びに生かしたその情熱に全身をゆさぶられます。

何事にも愛情を持ち、今を生かして今



に生きる猪熊先生の、この『畫に思ふ』は、新制作の原点そのものではないでしょうか。

◇犬の名 三田 康

「ふとした事から又ひよつこ仔犬をもらつて私の家庭に犬が這入り込む事になった。もらつた日が丁度二部會の招待日に當つてゐたので私は早速この犬をニブと命名した。(中略)犬が私の家に來るときつと何か事件が起る。果してこの時既に畫壇の風雲は極めて急で二部會にも愈々その闘志を捨て、新文展に歸りさうな氣運が濃厚になつて來た。とうとう我々同志がその二部會と志を異にして『官展の無鑑査位がそんなに嬉しいのか』とばかり意氣軒昂愈々二部會とも決別せねばならぬ日が來た。日ならずしてこの我々脱退組の同志で新團體を結成する事になつてその會名も大體『行動美術派協會』と云ふ事に纏まりかけてゐたことがある。その相談のあつた晩、私は家に歸つて、『今度の犬はコドだぞ』と家の者に言つたら又みんなに腹を抱へて笑はれた。(中略)處が愈々會則にも最後の検討が加へられて遂に會名までが今度の『新制作派協會』と云ふ名に變へられる事になつて、その時一番困つたのは私である。今度の紀州犬は牝犬だからいくら事件に因むのが慣らはしになつてゐたとは云へ牝犬にセイサクではあんまり風情がなさ過ぎる。私もそこではたと當惑した。(中略)愈々

我々の第一回旗揚げ展が目睫に迫るに従つて、私の昨今もつひ多忙になり、自然その影響は犬共にも及び、この頃では碌に散歩もさしてやれないでゐる。いづれ展覽會でも済んだら三四日は毎日弁當持ちで人影のないやうな原っぱに連れて行つて思ひ切り彼等の御相手をして遊んでやらうかと考へてゐる」

私が猪熊先生の所にいた頃、三田先生には何回か会つていますが、いつも精力的にオートバイで新制作の事務的な仕事をしている姿に、ある種の迫力を感じていました。

愛犬を新制作の仲間ととらえ、生活が新制作とひとつになつた暖い心情が源となつてあのような迫力を感じたのだと思います。

新制作3部(絵画・彫刻・建築・スペースデザイン)の創立会員の先生方に会う機会がありました。絵画部の内田巖先生にはその機会がなく会っていません。この「新制作生みの親 育ての親」では、創立会員の先生方と関わつたエピソードなども記しながら話を進め、その後猪熊先生を主に、思いつくままに1943年〜1993年頃のおおらかな足音をお伝えできればと考えています。

では、今回はこれにてお別れいたします。次の会報でまたお会いしましょう。

* 展覽会情報 *

◇本年度、73回展は国立新美術館において9月16日(水)を初日として開催されます。24日(木)は休館となります。

◇新作家賞受賞者には、賞牌として絵画部会員山内秀臣氏の作品が授与されます。授賞式は9月16日(水)12時30分より国立新美術館講堂にて開催します。

◇懇親会は、展覽会初日の9月16日(水)、各部別に行います。詳細は搬入時、または通知の際にお知らせします。

◇絵画・ギャラリートーク

① 9月19日(土) 14時〜16時

講演 大村 智(葦崎大村美術館館長)

② 9月20日(日) 13時〜16時

③ 9月22日(火) 13時〜16時

◇スペースデザイン・ギャラリートーク

9月19日(土) 14時〜16時

◇彫刻・パネルディスカッション

9月20日(日) 13時〜15時 3F講堂

パネラー 田中三蔵・ワシオトシヒコ

他

※意見交換の場になるつてご参加下さい。

◇73回展の全出品作品をカラー図版で掲載した図録を発行します。

〈73回展図録〉(出品目録付)

編集発行 新制作協会

入選者には図録負担金をお願いします。

◇73回展入場料

一般券八〇〇円／学生無料

〈73回展絵画部の審査と企画について〉

今回より、審査力デゴリーを、一般公募審査・小作品審査(新設)・データ画像審査の3審査としました。データ画像審査では、若い世代からの応募増により、会場の活性化と優れた新人作家の発掘と顕彰につとめます。また、小作品(20号〜80号S)での公募を新設いたします。

これにより、絵画部では新制作展の会場空間に新たな展開を目指します。なお、複数の審査への併出はできませんが、データ画像審査で選外の通知のあつた方のみ、一般公募審査に再応募ができます。

また、絵画部では73回展に向け、荻太郎氏の特別出品コーナー、ゲストによる講演、複数回のギャラリートーク(上記)、会員有志による小品展示、テーマルーム等の企画準備を開始しております。

◇巡回展開催日程

*新制作京都展

会期 09年10月20日(火)〜11月1日(日)

休館日 月曜日

会場 京都市美術館

*第73回新制作絵画展

会期 09年11月10日(火)〜11月15日(日)

休館日なし

会場 愛知県芸術文化センター

8階ギャラリー

*第73回新制作絵画広島展

会期 08年12月1日(火)〜12月6日(日)

休館日なし

会場 広島県立美術館・県民ギャラリー

73回展応募規定 要約

◇展覧会名称 第73回新制作展

◇会場 国立新美術館

◇会期 東京都港区六本木7-22-2

◇会期 09年9月16日(水)～9月28日(月)

10時～18時(入場は17時30分まで)
但し金曜日は20時まで(入場は19時30分まで)

◇搬入受付 9月2日(水)・3日(木)

◇搬出

選外作品 9月12日(土)・13日(日)
展示作品 9月29日(火)・9月30日(水)

※搬入受付・搬出時間ともに10時～17時

◇陳列 9月15日(火) 10時～17時

◇撤去 9月28日(月) 14時～

【絵画部】

一般作品審査

○作品サイズ 150号Sまで。

D(厚さ) 30cm以内。

○応募料 1点につき1万円、以後1点増すごとに5千円。(点数制限なし)

小作品審査との併出はできない。

小作品審査(新設)

○作品サイズ 20号～80号Sまで。

D(厚さ) 30cm以内。

○応募料 1点につき1万円、以後1点増すごとに3千円。(点数制限なし)

一般審査との併出はできない。

データ画像審査

○応募資格 30歳以下の方。

○作品サイズ 100号～150号Sまで、D(厚さ) 30cm以内で2点以上。

○応募料無料。入選の場合は1万円必要。

※データ画像審査のみ応募締切8月19日(水)

入選発表8月25日(火)。

詳細はリーフレットまたは新制作公式

ホームページを参照のこと。

【彫刻部】

一般作品審査

○作品サイズ

単体作品の場合

H280×W300×D200cm以内。

組作品の場合

H350×W300×D250cm以内。

○作品重量

室内 1点の総重量2tまで。(床面積に対しては1.5t/m²まで)

野外 1点総重量5tまで。(床面積に対しては2t/m²まで)

※但しひとつのパーツの重量は3tまで。

○搬入 作品が規定を超過した場合及び危険を伴うと判断された場合は搬入を受け付けない。

○応募点数 制限なし。

○応募料 3点まで1万5千円、4点目以降は1点につき3千円。

データ画像審査(新設)

○遠隔地からの出品者を対象にデータ画像審査を実施。

提出期日、応募料、形式等の詳細は、別紙または新制作協会公式ホームページを参照のこと。

【スペースデザイン部】

空間に関するあらゆるデザイン作品(実物、実験的作品、写真、模型等)を対象とし、次のA・B2部門を設ける。

A 一般作品審査

○作品サイズ

床面展示作品 占有床面積2.5m²以内。

中空吊り作品 投影面積2.0m²以内かつ最大長辺2.5m以内。

壁面展示作品 幅2.5m以内。(展示

会場の壁面の高さは4.8m)

○作品重量

床面展示作品 1.5t/m²まで。

中空吊り作品 200kgまで。

壁面展示作品 幅1mにつき50kgまで。

○応募点数 制限なし。

○1点につき1万円、以降1点増すごとに5千円加算。(前記作品サイズが1

点の基準となるので、それを越えた場合は2点分以上の扱いとなる)

B ミニアチュール作品審査(新設)

○作品サイズ W35×D35×H100cm以内。

(当方が準備するW35×D35×H65cmの台に必ず自立すること)

○作品重量 面荷重25kg以内。(点荷重の場合は荷重を分散できる厚さの敷板を用意すること)

○応募点数 制限なし。

○応募料 1点につき6千円、以降1点増すごとに3千円加算。

その他の注意事項

(1)展示上危険を伴わない作品であること。

(2)設置、移動に耐えること。

(3)2個以上の部分で構成される作品は図面又は写真を添えること。

(4)共同制作の場合は、全員について応募目録(又は別紙)に必要事項を記入の上、連絡先1名を明示すること。

(5)一般作品審査のみ野外展示作品の応募を認める。(1mにつき2t以内で総重量5tまで。野外展示場水勾配1/100)

(6)軽量の中空吊り作品は搬入場所ですっぽりトアップできる。(制作作業は不可)

(7)組作品の展示に際し、スペースデザインという性格上、作者との話し合いの上で構成等を一部変更する場合がある。

(7)宅配便搬入については、谷中田美術㈱に問い合わせること。

(8)A、B両審査にわたる応募も可。サイズ、応募料などの条件は審査ごと。

~~~~~

◇付加事項

《作品の取扱い》応募作品が他の作品を破損するおそれがある場合は、搬入を受け付けないことがある。

《応募料の支払》8月28日(金)までに協会指定の用紙にて郵便振込とする。なお、やむを得ない場合に限り搬入日に現金にて受付ける。

※一度振込まれた応募料は返金されない

ので注意のこと。

《駐車場》搬入時の駐車は2時間まで可能。車両の入館は8時30分～20時まで。車両の大きさは、高さ3.8m、幅2.5mまで。入館時に届出書に記入する。

~~~~~

●お知らせ 最近、ネット上で作品画像を無断使用されたり、作品の重要な部分をそのまま盗用された被害がありました。著作権等に抵触するような被害に遭われた方は、運営委員会に報告して下さい。

~~~~~

◇新制作協会eメールアドレス

新制作協会の事務所でeメールが受けられます。ご利用下さい。

webmaster@shinseisaku.jp

会報編集委員 絵画部・山口 都

彫刻部・藤森民雄 SD部・中野 威

(吉國写植室)